

## 第25回大会（茨城大会）の概要報告

茨城大会実行委員長 大内 善一

### 大会テーマ

言語技術教育が見える授業づくり

―「大造じいさんとがん」「和の文化を受けつぐ―和菓子をさぐる―」で身につけさせる言語技術―

### 一 第25回大会の概要

第25回大会は、二〇一五年七月十九日（日）、茨城県日立市大みか町にある茨城キリスト教大学で開催された。参加者は一四八名、懇親会の参加者は四名であった。当日の昼には理事会及び総会を開催し、①二〇一五年度の活動報告、②会計報告、③二〇一六年度予算案等が審議され、理事会及び会員の皆様のご承認を頂いた。

提案授業をお引き受け下さった四名の先生方、ご登壇下さった諸先生方、学会理事各位にも衷心より御礼を申し上げます。

なお、第25回大会の詳細については、学会紀要で

ある『言語技術教育』第2号及びホームページ

（<http://homepage3.nifty.com/issao-chan/genogizyutu/genogizyutu-index.htm>）を参照下さい。

### 二 第一部 説明文教材による模擬授業提案

―教材「和の文化を受けつぐ」（各二〇分）―

授業Ⅰ 筆者の考えや主張を読み取る

松澤正仁（愛媛県・下灘小学校）

授業Ⅱ 資料を活用して説明する（読む・話す・聞く・書く）

市毛勝雄（学会会長）

提案授業の検討（六〇分）

司会（兼討論者）

柳谷直明（北海道・妹背牛小学校）

授業提案者 松澤正仁（愛媛県・下灘小学校）

市毛勝雄（学会会長）

登壇者 今井 東（群馬県・旭小学校）

小森 茂（青山学院大学）

照井孝司（せせらぎ国語教室）

中村孝一（常葉大学）

第一部では、二名の先生方による説明文教材による授業提案が行われた。要約の祭のポイントが明確に示された授業、教科書教材をワークシートの形に改変して使用する授業が提案された。

### 三 第二部 文学教材による模擬提案授業

―教材「大造じいさんとがん」（各二〇分）―

授業Ⅲ 人物の心の変容を読解するための言語技術の活用法

岩下 修（愛知県・名進研小学校国

語科顧問、京都府・立命館小学

校国語教育アドバイザー）

授業Ⅳ 言語技術を理解し、活用し、読みを深めるための指導

佐藤康子（青森明の星短期大学）

提案授業の検討（六〇分）

司会（兼討論者）

野口芳宏（学会副会長）

授業提案者 岩下 修（愛知県・名進研小学校国

語科顧問）

佐藤康子（青森明の星短期大学）

登壇者 光野公司郎（共栄大学）

佐藤洋一（愛知教育大学）

長谷川祥子（北海道教育大学）

渡邊洋子（常磐大学）

第二部では、二名の先生方による文学教材の提案授業が行われた。「話者」の視点を学習者に理解させ活用させる授業、情景描写の表現の読み取りに焦点を絞った授業が提案された。

### 四 総括討論（三〇分）

司会（兼討論者）

大内善一（茨城キリスト教大学）

登壇者 鶴田清司（都留文科大学）

望月善次（学会理事）

「言語技術」の概念規定及び「言語技術」の三層（Ⅰ 言語行為者がその言語行為の中で用いている言語技術、Ⅱ Ⅰの言語技術を把握・理解する学習者の言語技術、Ⅲ Ⅱの言語技術を身につけさせる教師の言語技術）の提案、言語技術の習得と活用を旨とする授業づくりのポイントなどを巡って討論が行われた。